

第24回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果

1 はじめに

OKB総研では、毎年、岐阜・愛知・三重・滋賀県に在住の主婦を対象に「主婦の消費行動に関するアンケート」を実施している。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大から2年目となった2021年、この地域の主婦が足元の景気をどのように感じ、消費活動を行なったのか、その実態を明らかにしたい。

2 調査概要

- (1) 調査時期：2021年11月15日～11月19日
- (2) 調査方法：OKB大垣共立銀行本支店(東京・大阪を除く)に訪れた主婦^(※1) 805人にアンケート用紙を配布・回収
- (3) 有効回答数：786名(有効回答率97.6%)
- (4) 回答者属性

属性	項目	割合
年代	20歳代	6.5%
	30歳代	19.7%
	40歳代	24.7%
	50歳代	27.9%
	60歳以上	21.1%
住所	岐阜県	53.8%
	愛知県	41.7%
	三重県	2.2%
	滋賀県	2.4%
	その他	0.0%
就業形態	専業主婦	10.0%
	正社員・公務員・自営業	42.1%
	パートタイマー	46.1%
	内職・その他	1.8%

(※1) 本調査における「主婦」とは、既婚女性で子どもの有無や就業形態は問わない。
 (※2) 数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある(以下同じ)。

3 調査結果

(1) 主婦の景気判断

A. 主婦の景況感

「現在(2021年)の景気は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「良くなった」が全体の4.6%、「変わらない」が45.9%、「悪くなった」が44.1%となった(図表1)。「悪くなった」が前回調査から▲25.0ポイントと大きく低下し、景気に対する過度な悲観が和らいだ結果となった。

年代・住所・就業形態別に見ると、全ての属性において「悪くなった」の回

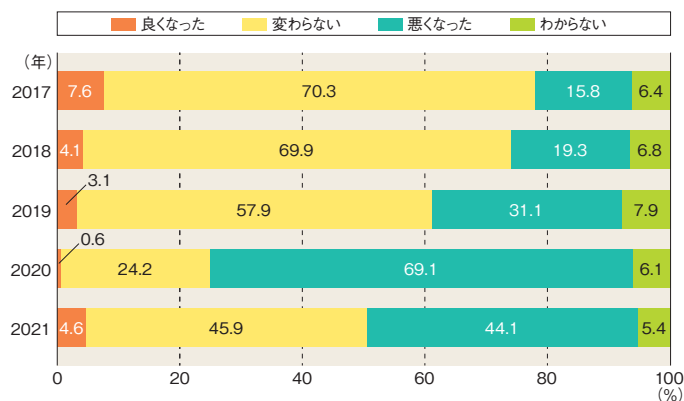
答率が前回と比べて低下した(図表2)。

景況D.I.(「良くなった」の回答率-「悪くなった」の回答率)は▲39.5で、前回から29.0ポイント上昇した(図表3)。

B. 主婦の物価観

「現在(2021年)の物価は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「高くなった」が全体の79.5%、「変わらない」が18.0%、「安くなった」が0.1%となった(図表4)。「高くなった」が前回から+21.3ポイントと大きく上昇し約8割が物価高を実感している結果となった。年代・住所・就業形態別に見ると、

図表1 主婦の景況感(全体)の推移



図表2 主婦の景況感(属性別)

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
全体	4.6 (4.0)	45.9 (21.7)	44.1 (▲25.0)	5.4 (▲0.7)
20歳代	12.0 (7.9)	32.0 (7.5)	42.0 (▲17.2)	14.0 (1.8)
30歳代	5.8 (5.1)	60.6 (33.6)	25.8 (▲42.6)	7.7 (3.8)
40歳代	3.6 (3.1)	47.4 (24.8)	44.3 (▲26.0)	4.6 (▲2.1)
50歳代	4.1 (3.7)	47.5 (22.1)	44.7 (▲26.1)	3.7 (0.3)
60歳以上	3.0 (3.0)	32.5 (11.0)	60.8 (▲8.2)	3.6 (▲5.9)
岐阜県	4.5 (3.8)	42.3 (16.2)	48.7 (▲18.3)	4.5 (▲1.7)
愛知県	4.3 (3.7)	51.1 (28.9)	37.9 (▲34.6)	6.7 (2.0)
専業主婦	3.8 (3.8)	39.7 (14.7)	48.7 (▲13.3)	7.7 (▲5.3)
正社員等	7.6 (6.5)	43.5 (20.3)	43.8 (▲26.3)	5.2 (▲0.4)
パート	2.2 (1.9)	50.1 (25.7)	42.9 (▲27.6)	4.7 (▲0.1)

(※) 括弧内は、前回差を示す。

全ての属性において「高くなった」の回答率が10ポイント超上昇した(図表5)。

物価D.I.(「高くなった」の回答率-「安くなった」の回答率)は79.4で、前年から+22.2ポイントと大幅な上昇となった(図表6)。

(2)家計について

A. 家計の収入

「2021年の家計収入は、1年前と

比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の12.6%、「変わらない」が56.6%、「減った」が30.7%となった(図表7)。前回と比べて「減った」が▲8.8ポイントと低下した一方、「増えた」は+1.4ポイントと小幅な上昇にとどまった。「変わらない」は7.3ポイント上昇し、回答率は全体の半分以上に及んだ。

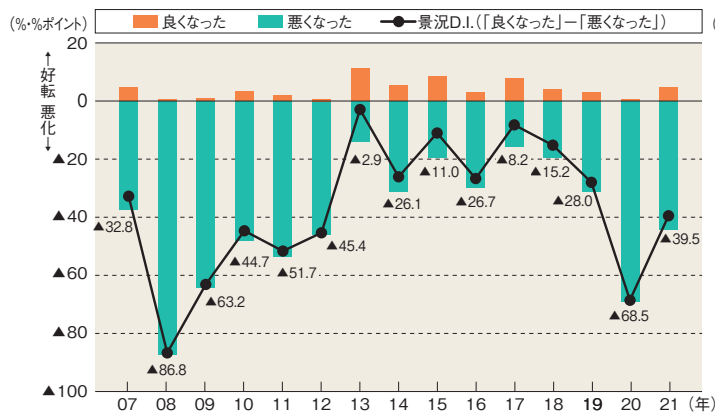
年代・住所・就業形態別に見ると、

60歳以上を除く全ての属性において「減った」の回答率が低下した(図表8)。

B. 家計の支出

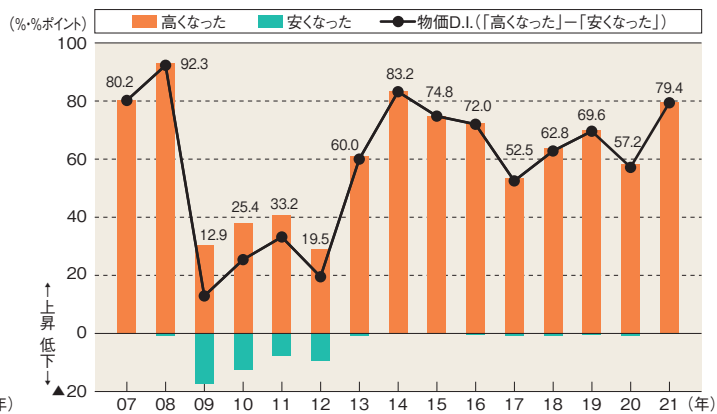
「2021年の家計支出は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の54.2%、「変わらない」が35.7%、「減った」が10.1%となった(図表9)。これらの回答率は

図表3 主婦の景況D.I.の推移



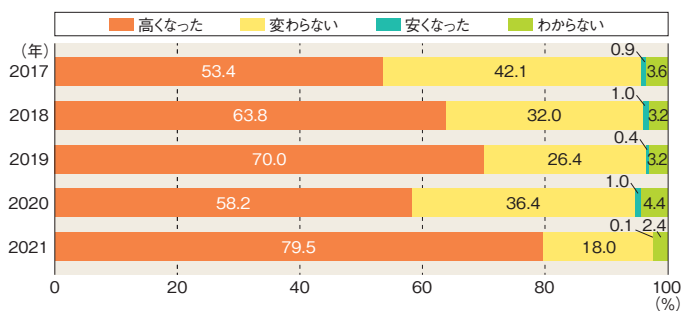
(*)「悪くなった」は負の値で表示している。

図表6 主婦の物価D.I.の推移

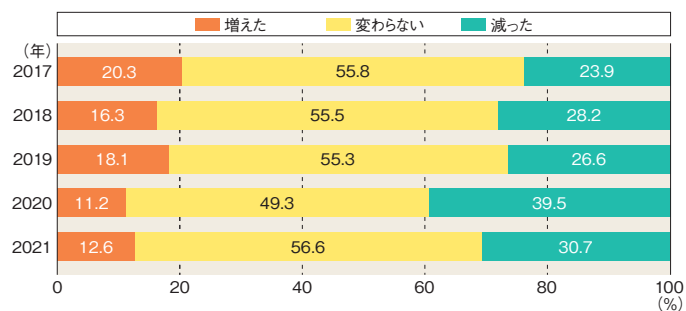


(*)「安くなった」は負の値で表示している。

図表4 主婦の物価観(全体)の推移



図表7 家計収入(全体)の推移



図表5 主婦の物価観(属性別)

	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	79.5 (21.3)	18.0 (▲18.4)	0.1 (▲0.9)	2.4 (▲2.0)
20歳代	86.0 (24.8)	10.0 (▲18.6)	0.0 (0.0)	4.0 (▲6.2)
30歳代	72.3 (16.4)	24.5 (▲13.0)	0.0 (▲0.7)	3.2 (▲2.7)
40歳代	83.0 (20.4)	13.4 (▲20.4)	0.5 (0.0)	3.1 (0.0)
50歳代	78.5 (22.1)	20.5 (▲18.1)	0.0 (▲1.3)	0.9 (▲2.9)
60歳以上	81.3 (24.7)	16.3 (▲21.4)	0.0 (▲1.9)	2.4 (▲1.4)
岐阜県	81.7 (23.6)	16.2 (▲19.5)	0.0 (▲1.2)	2.1 (▲3.0)
愛知県	75.8 (17.4)	20.8 (▲16.7)	0.3 (▲0.6)	3.1 (0.0)
専業主婦	75.6 (22.6)	19.2 (▲21.8)	0.0 (0.0)	5.1 (▲0.9)
正社員等	78.4 (21.8)	19.1 (▲17.0)	0.3 (▲0.8)	2.1 (▲4.1)
パート	80.9 (19.3)	16.9 (▲18.0)	0.0 (▲1.3)	2.2 (0.0)

(*)括弧内は、前回差を示す。

図表8 家計収入(属性別)

	増えた	変わらない	減った
全体	12.6 (1.4)	56.6 (7.3)	30.7 (▲8.8)
20歳代	27.5 (▲9.2)	58.8 (9.8)	13.7 (▲0.6)
30歳代	21.4 (▲1.8)	63.6 (15.3)	14.9 (▲13.6)
40歳代	15.5 (7.3)	53.1 (8.5)	31.4 (▲15.8)
50歳代	6.4 (1.3)	55.7 (6.1)	37.9 (▲7.4)
60歳以上	4.8 (0.3)	55.2 (▲0.6)	40.0 (0.3)
岐阜県	12.1 (2.4)	54.9 (3.4)	33.0 (▲5.7)
愛知県	13.5 (▲0.3)	58.0 (10.4)	28.5 (▲10.1)
専業主婦	9.0 (2.9)	52.6 (▲0.5)	38.5 (▲2.3)
正社員等	16.7 (2.0)	57.8 (9.2)	25.5 (▲11.2)
パート	10.0 (0.8)	56.9 (7.4)	33.1 (▲8.2)

(*)括弧内は、前回差を示す。

前回と比べて大きな増減はなかった。

年代・住所・就業形態別に見ると、全ての属性において「増えた」の回答率が5割前後となっている(図表10)。

C. 家計支出の費目別動向

(a) 支出増加費目／支出減少費目

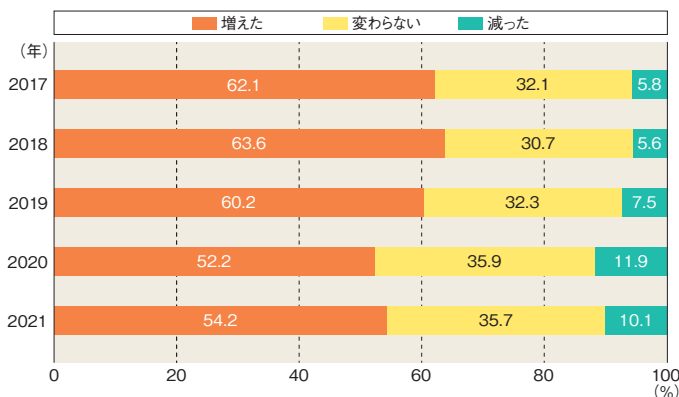
「2021年の家計支出を考えたとき、1年前より支出が増えた費目は何ですか(あてはまるもの全て選択)」と

尋ねたところ、トップは「食費」で54.8%だった。世界的な需要拡大や天候不順等による原材料不足、円安や原油高によるコスト上昇などを受けて、食料品の値上がりが相次いでいることが要因と考えられる。2位は「光熱・水道費」で42.0%だった。燃料価格の高騰により電気料金が値上がりしていることが要因とみられる。年代別に見ると、全ての年代で「食

費」がトップとなった。また、マスクや消毒液などを含む「保健医療費」は全ての年代で回答率が低下し、「交通・通信費」は増加した(図表11)。

支出が増えた上位5費目(全体)の推移を見ると、「食費」と「光熱・水道費」の上昇幅は前回から縮小したものの、上昇基調が続いている。前回トップだった「保健医療費」は前回から回答率が低下したものの、依然

図表9 家計支出(全体)の推移



図表10 家計支出(属性別)

	(%:ポイント)		
	増えた	変わらない	減った
全体	54.2 (2.0)	35.7 (▲0.2)	10.1 (▲1.8)
20歳代	56.9 (7.9)	33.3 (2.7)	9.8 (▲10.6)
30歳代	52.3 (▲4.7)	40.5 (10.0)	7.2 (▲5.4)
40歳代	59.3 (▲1.2)	33.0 (2.7)	7.7 (▲1.5)
50歳代	53.9 (6.0)	34.7 (▲4.3)	11.4 (▲1.7)
60歳以上	49.4 (4.8)	36.7 (▲8.5)	13.9 (3.7)
岐阜県	56.1 (3.8)	34.7 (▲1.9)	9.3 (▲1.8)
愛知県	52.5 (0.8)	37.7 (2.3)	9.8 (▲3.1)
専業主婦	48.7 (▲5.4)	35.9 (▲2.9)	15.4 (8.3)
正社員等	55.5 (6.9)	34.8 (▲4.5)	9.7 (▲2.4)
パート	54.6 (▲1.3)	35.9 (5.1)	9.5 (▲3.8)

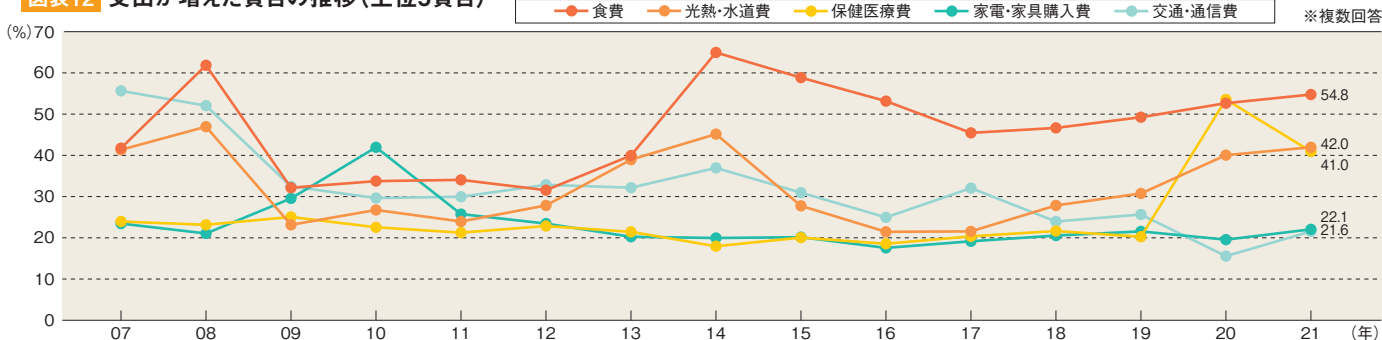
(*) 括弧内は、前回差を示す。

図表11 支出が増えた費目(上位5費目、属性別)

	※複数回答 (%:ポイント)				
	食費	光熱・水道費	保健医療費	家電・家具購入費	交通・通信費
全体	54.8 (2.1)	42.0 (1.9)	41.0 (▲12.6)	22.1 (2.5)	21.6 (6.0)
20歳代	60.8 (1.6)	35.3 (0.6)	23.5 (▲21.4)	37.3 (23.0)	15.7 (3.5)
30歳代	59.9 (▲4.8)	33.6 (▲7.1)	34.2 (▲14.5)	19.1 (3.8)	18.4 (9.7)
40歳代	62.8 (3.7)	48.2 (3.6)	44.0 (▲10.9)	22.0 (1.8)	24.1 (2.3)
50歳代	45.2 (3.9)	43.3 (7.6)	41.5 (▲15.9)	24.0 (2.3)	23.0 (3.0)
60歳以上	51.2 (3.1)	42.6 (0.4)	48.1 (▲5.8)	17.9 (▲3.5)	21.6 (12.5)
岐阜県	55.6 (2.5)	44.4 (4.3)	44.1 (▲9.7)	22.8 (3.3)	22.1 (6.8)
愛知県	54.5 (1.1)	40.5 (▲0.7)	37.4 (▲12.4)	20.9 (▲0.2)	21.2 (4.6)
専業主婦	58.4 (2.1)	50.6 (12.1)	37.7 (▲14.4)	20.8 (0.0)	20.8 (10.4)
正社員等	55.9 (2.0)	40.7 (3.7)	35.2 (▲15.8)	18.8 (▲0.4)	21.3 (8.4)
パート	53.8 (3.2)	42.0 (▲2.8)	46.8 (▲9.3)	25.8 (5.2)	22.1 (1.8)

(※1) 色は、各属性における最も回答率の高い費目。(※2) 括弧内は、前回差を示す。

図表12 支出が増えた費目の推移(上位5費目)



高水準となっている(図表12)。また、図表にはないが前回大幅に低下した「外食費」や「レジャー費」、「衣料費」等は今回小幅な上昇にとどまっております、「リベンジ消費」のような動きは見受けられない。

次に、「2021年の家計支出を考えたとき、1年前より支出が減った費目は何か(あてはまるもの全て選択)」と尋ねたところ、トップは「レ

ジャー費」で61.2%、2位は「外食費」で37.4%、3位は「交際費」で25.8%であった(図表13)。前回に引き続き、コロナ禍による自粛の影響が色濃く表れた。年代別に見ると、全ての年代で「レジャー費」がトップとなった。また、全ての年代で「外食費」の回答率が低下した。

支出が減った上位5費目(全体の推移を見ると、「レジャー費」と「外

食費」の回答率は前回から低下したものの、依然水準は高い。「交際費」は小幅に上昇して3位となっている(図表14)。

(b) 今以上に減らしたい費目／増やしたい費目

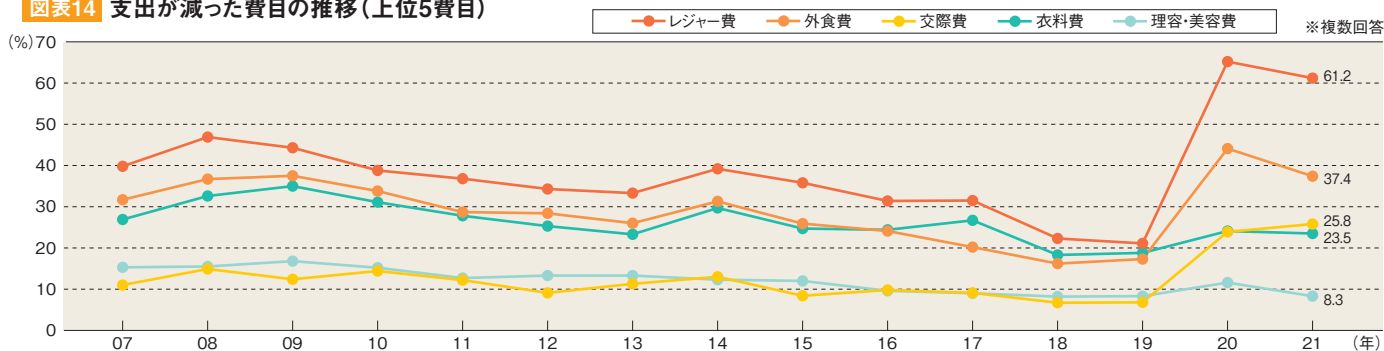
「2021年の家計支出をふまえて、今以上に支出を減らしたい費目は何か(3つまで選択)」と尋ねたところ

図表13 支出が減った費目(上位5費目、属性別)

	レジャー費		外食費		交際費		衣料費		美容・美容費	
	割合	前年差	割合	前年差	割合	前年差	割合	前年差	割合	前年差
全体	61.2	(▲4.0)	37.4	(▲6.7)	25.8	(1.9)	23.5	(▲0.6)	8.3	(▲3.3)
20歳代	66.7	(2.1)	19.6	(▲24.2)	17.6	(▲7.4)	19.6	(▲5.4)	3.9	(▲8.6)
30歳代	56.3	(▲17.0)	33.8	(▲12.2)	23.2	(▲3.5)	15.2	(3.2)	7.9	(▲8.1)
40歳代	66.8	(▲2.3)	36.8	(▲6.7)	20.5	(2.2)	13.7	(▲5.7)	6.3	(▲3.1)
50歳代	57.6	(▲4.8)	42.9	(▲2.1)	26.3	(3.2)	28.1	(▲1.2)	9.2	(▲1.7)
60歳以上	61.9	(5.5)	40.0	(▲1.6)	36.9	(8.0)	38.1	(3.9)	11.3	(0.6)
岐阜県	62.4	(▲0.7)	39.6	(▲4.2)	28.3	(4.0)	23.3	(▲4.1)	8.6	(▲3.3)
愛知県	60.6	(▲7.1)	34.4	(▲8.8)	23.7	(0.2)	22.4	(1.4)	6.9	(▲4.4)
専業主婦	68.4	(2.5)	31.6	(▲15.7)	28.9	(0.3)	28.9	(6.9)	11.8	(▲0.3)
正社員等	62.4	(▲3.0)	35.4	(▲6.2)	25.8	(▲0.1)	22.4	(▲1.7)	6.8	(▲5.4)
パート	59.2	(▲6.7)	40.0	(▲7.3)	25.6	(5.0)	23.4	(▲1.4)	8.7	(▲2.6)

(※1) 色付きは、各属性における最も回答率の高い費目。(※2) 括弧内は、前回差を示す。

図表14 支出が減った費目の推移(上位5費目)



図表15 今以上に支出を減らしたい費目(上位5費目、属性別)

	光熱・水道費		食費		外食費		保険料		交通・通信費		減らしたい費目はない/特に考えていない	
	割合	前年差	割合	前年差	割合	前年差	割合	前年差	割合	前年差	割合	前年差
全体	43.6	(7.0)	40.4	(3.0)	13.1	(▲2.3)	12.7	(▲1.5)	11.4	(▲2.1)	17.1	(0.8)
20歳代	49.0	(10.2)	47.1	(2.2)	15.7	(▲4.7)	11.8	(1.6)	11.8	(▲8.6)	13.7	(3.5)
30歳代	40.9	(0.9)	38.3	(▲1.7)	22.1	(▲3.2)	11.7	(1.0)	8.4	(▲1.6)	17.5	(1.5)
40歳代	45.6	(6.7)	44.6	(2.1)	14.0	(3.6)	11.9	(▲3.6)	11.4	(▲3.6)	12.4	(▲1.6)
50歳代	47.2	(8.3)	41.3	(6.7)	8.7	(▲4.1)	12.8	(▲3.0)	14.7	(0.6)	18.8	(0.4)
60歳以上	36.8	(10.7)	33.7	(3.6)	8.6	(▲5.8)	14.7	(▲0.3)	9.8	(▲2.0)	20.9	(2.6)
岐阜県	43.8	(9.1)	40.2	(3.6)	12.6	(▲2.2)	14.0	(▲2.4)	12.1	(0.4)	18.6	(2.6)
愛知県	44.1	(4.2)	39.8	(0.6)	14.5	(▲2.6)	11.1	(▲0.9)	11.1	(▲4.1)	14.5	(▲2.0)
専業主婦	37.7	(1.6)	31.2	(▲6.9)	15.6	(▲1.9)	9.1	(▲0.2)	13.0	(2.7)	19.5	(0.9)
正社員等	42.4	(11.0)	40.9	(5.5)	11.9	(▲2.1)	13.4	(▲1.2)	8.8	(▲2.3)	17.1	(▲3.5)
パート	46.6	(3.8)	42.7	(1.9)	13.7	(▲2.7)	12.6	(▲2.2)	13.4	(▲3.3)	15.9	(5.0)

(※1) 色付きは、各属性における最も回答率の高い費目。(※2) 括弧内は、前回差を示す。

ろ、「光熱・水道費」が43.6%でトップ、2位が「食費」で40.4%となった(図表15)。いずれも前回から上昇しているほか、他の費目と比べ回答率が4割と突出している。「減らしたい費目はない・特に考えていない」は17.1%と、前回から小幅に上昇した。年代別に見ると、全ての年代で「光熱・水道費」がトップとなっており、回答率も全ての年代で前回から上昇している。

一方、「2021年の家計支出をふまえて、今以上に支出を増やしたい費目は何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、トップは「レジャー費」で43.6%、次いで「外食費」が15.4%となった(図表16)。「レジャー費」は前回から+11.0ポイント、「外食費」は

同+3.8ポイントとなっており、コロナ禍により自粛生活が長引く中で、旅行や外食などへの欲求が強まっている様子がうかがえる。「増やしたい費目はない・特に考えていない」は37.2%と、前回から7.1ポイント低下した。年代別に見ると、全ての年代で「レジャー費」と「外食費」の回答率が前回から上昇している。また、全ての年代で「レジャー費」がトップとなっている。

(c) 高額商品の購入

「2021年に1商品10万円以上する高価な買い物(家族旅行を含む)をしましたか」と尋ねたところ、図表にはないが、「はい」は48.3%で前回から2.2ポイント上昇した。次に、「はい」と回答

した人に「具体的にどのような買い物をしましたか」と尋ねたところ、「一般家電」が44.2%でトップとなり、次いで「自動車の購入・維持」が28.8%、「住宅の購入・維持」が15.9%となった。年代別に見ると、全ての年代で「一般家電」がトップとなっている(図表17)。

上位5品目(全体)の推移を見ると、「一般家電」が前回から3.0ポイント伸び、2年連続でトップとなった。「国内旅行」は3年連続で低下し、順位を4位に落とした(図表18)。

D. 家計管理の工夫について

「あなたが家計を管理する中で、工夫していることは何ですか(あてはまるもの全て選択)」と尋ねたところ、

図表16 今以上に支出を増やしたい費目(上位5費目、属性別)

	レジャー費		外食費		教育費		教養娯楽費		家電・家具購入費		※複数回答(%・%ポイント)	
	増やしたい費目はない・特に考えていない											
全体	43.6	(11.0)	15.4	(3.8)	8.0	(▲3.3)	9.6	(▲1.5)	7.3	(1.7)	37.2	(▲7.1)
20歳代	60.8	(19.1)	15.7	(1.1)	2.0	(▲6.3)	5.9	(▲0.4)	2.0	(▲4.3)	27.5	(▲10.0)
30歳代	44.5	(4.1)	12.9	(4.3)	17.4	(▲7.1)	11.0	(▲0.9)	6.5	(3.2)	36.1	(0.3)
40歳代	40.3	(8.7)	12.0	(1.1)	14.7	(▲4.5)	10.5	(▲2.5)	8.4	(2.7)	36.6	(▲6.9)
50歳代	41.7	(13.6)	18.5	(3.8)	1.4	(▲2.1)	8.3	(▲1.2)	8.8	(2.7)	39.4	(▲11.2)
60歳以上	43.9	(13.8)	17.8	(8.2)	1.9	(1.2)	10.2	(▲1.4)	6.4	(▲0.4)	38.9	(▲7.7)
岐阜県	45.5	(14.9)	16.3	(5.6)	7.5	(▲3.0)	10.0	(▲1.2)	7.3	(2.8)	36.3	(▲11.0)
愛知県	42.4	(7.4)	13.3	(1.4)	8.4	(▲4.1)	8.7	(▲2.9)	7.7	(0.6)	37.8	(▲2.7)
専業主婦	36.5	(7.9)	21.6	(13.9)	5.4	(▲10.0)	8.1	(▲12.8)	8.1	(▲1.8)	36.5	(▲6.4)
正社員等	50.5	(16.6)	16.6	(5.4)	8.3	(▲1.5)	9.5	(▲1.7)	6.2	(1.9)	32.9	(▲13.1)
パート	39.2	(6.5)	13.0	(0.4)	8.7	(▲3.3)	10.1	(2.0)	8.5	(2.7)	40.0	(▲2.4)

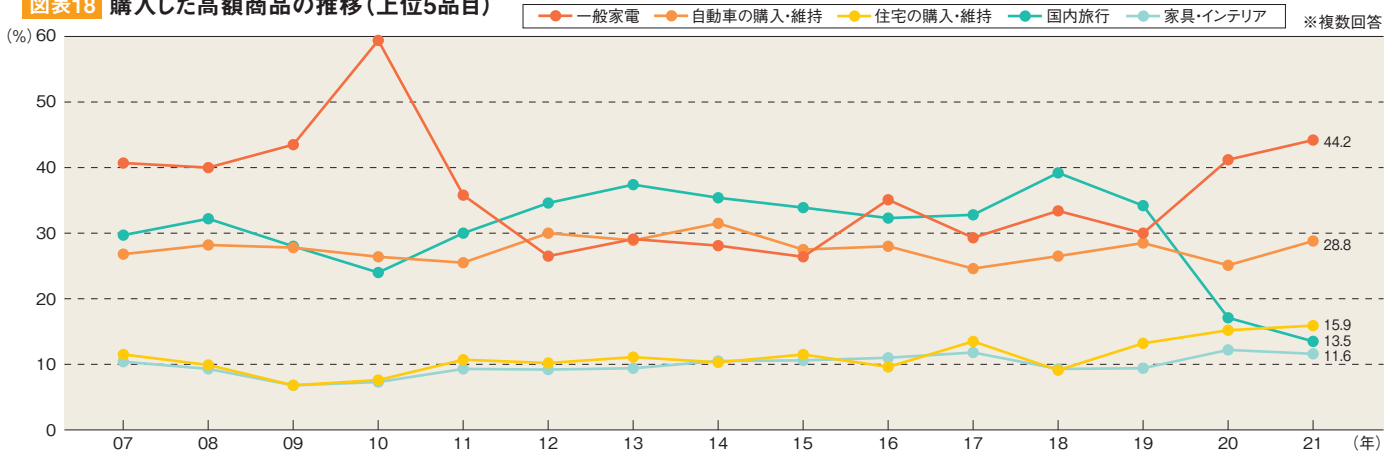
(※1) ■は、各属性における最も回答率の高い費目。(※2)括弧内は、前回差を示す。

図表17 購入した高額商品(上位5品目、属性別)

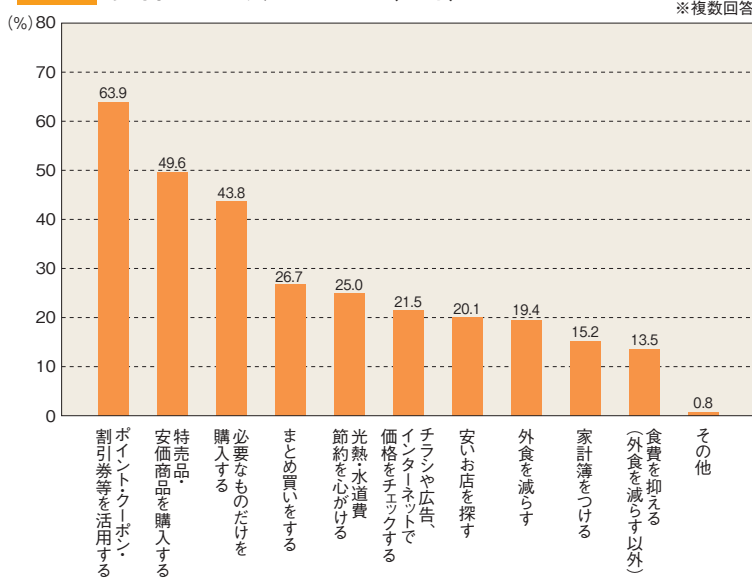
	一般家電		自動車の購入・維持		住宅の購入・維持		国内旅行		家具・インテリア		※複数回答(%・%ポイント)	
	増やしたい費目はない・特に考えていない											
全体	44.2	(3.0)	28.8	(3.7)	15.9	(0.7)	13.5	(▲3.6)	11.6	(▲0.6)		
20歳代	61.5	(24.0)	15.4	(7.1)	30.8	(1.6)	11.5	(▲13.5)	30.8	(1.6)		
30歳代	45.5	(8.5)	24.7	(▲2.7)	16.9	(0.5)	23.4	(2.9)	15.6	(0.5)		
40歳代	41.0	(▲0.9)	29.0	(5.3)	15.0	(5.3)	9.0	(▲8.2)	7.0	(▲4.8)		
50歳代	42.3	(4.8)	37.5	(5.8)	15.4	(0.0)	9.6	(▲6.7)	7.7	(▲3.8)		
60歳以上	43.7	(▲7.8)	25.4	(4.8)	11.3	(▲4.9)	15.5	(3.7)	12.7	(8.3)		
岐阜県	44.7	(2.1)	28.9	(2.1)	16.2	(1.5)	9.6	(▲2.0)	10.7	(1.2)		
愛知県	43.3	(2.5)	28.0	(5.7)	15.9	(0.0)	19.5	(▲3.4)	14.0	(▲1.9)		
専業主婦	38.5	(▲10.4)	30.8	(10.8)	11.5	(▲6.3)	11.5	(0.4)	19.2	(14.8)		
正社員等	39.6	(2.0)	22.6	(2.6)	21.3	(6.6)	17.1	(0.0)	12.8	(▲1.9)		
パート	48.9	(5.3)	34.4	(0.8)	11.7	(▲2.6)	10.0	(▲7.1)	10.0	(▲2.1)		

(※1) ■は、各属性における最も回答率の高い費目。(※2)括弧内は、前回差を示す。

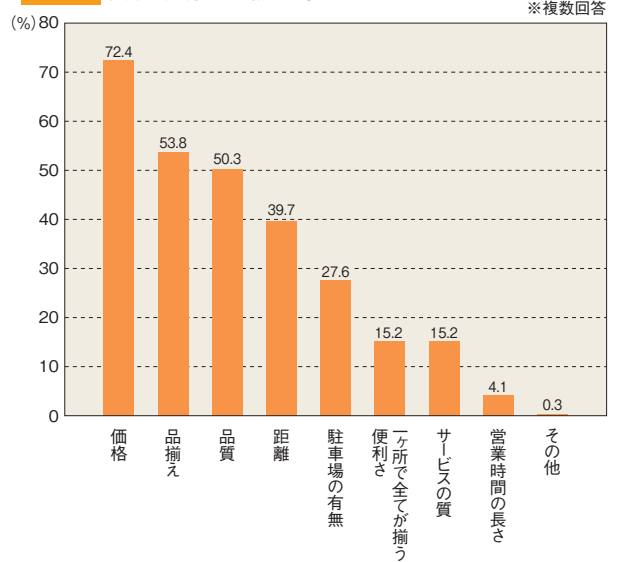
図表18 購入した高額商品の推移(上位5品目)



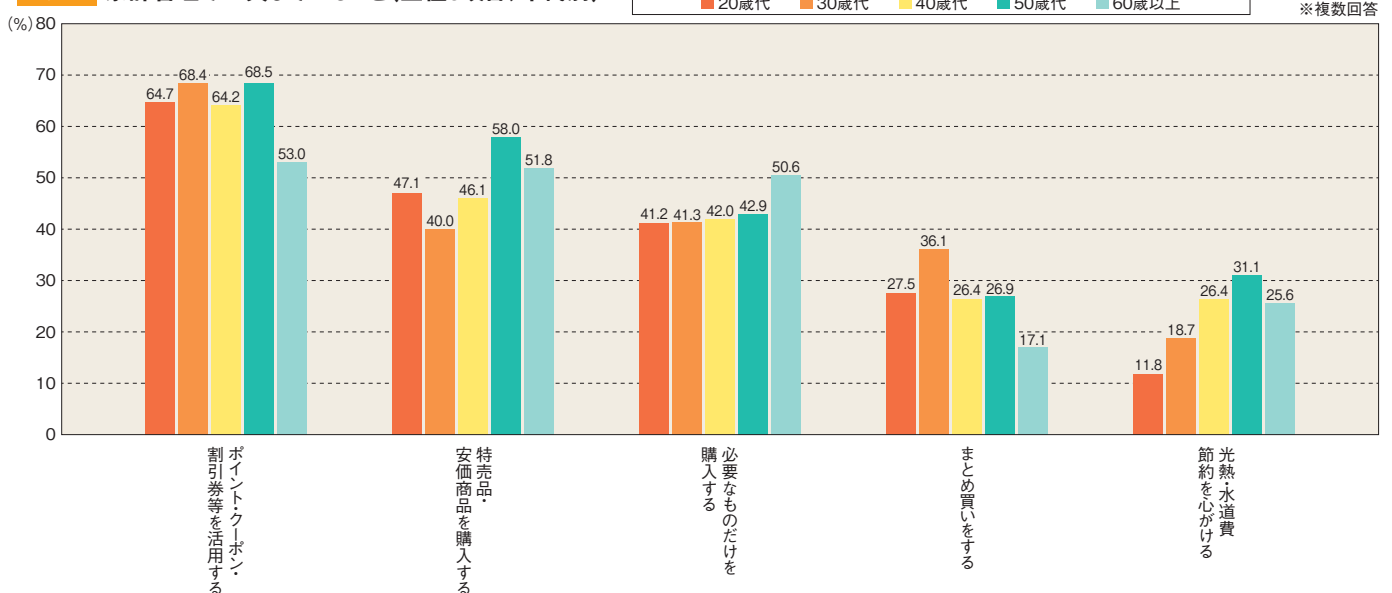
図表19 家計管理で工夫していること(全体)



図表21 買物場所の選択基準



図表20 家計管理で工夫していること(上位5項目、年代別)



「ポイント・クーポン・割引券等を活用する」が63.9%でトップ、次いで「特売品・安価商品を購入する」が49.6%、「必要なものだけを購入する」が43.8%となった(図表19)。「ポイント・クーポン・割引券等を活用する」の回答率は前回から4.1ポイント上昇した。また、前回6位だった「まとめ買いをする」は3.6ポイント伸びて4位に浮上した。

年代別に見ると、全ての年代で「ポイント・クーポン・割引券等を活用する」がトップとなり、ポイントやクーポンなどを活用した節約術が年代を問わず浸透しつつあることがうかがえる(図表20)。

E. 買物場所について

(a) 買物場所の選択基準

「あなたが買物場所を選択するにあたり、重視する点は何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、「価格」が72.4%でトップであった。次に「品揃え」で53.8%、「品質」で50.3%となった(図表21)。上位3項目は例年と変わらない。「品揃え」が前回から4.1ポイント伸び、「品質」と順位が入れ替わった。

(b) 買物場所の利用頻度

図表22は、主婦の買物場所(11業態)の利用頻度を1年間の平均利用回数に換算した結果である。

この地域の主婦が最もよく利用する店は従来通り「スーパー」で、年間126.1回(およそ2.9日に1度の利用頻度)であった。次いで「コンビニエンスストア」が65.6回(5.6日に1度)、「ドラッグストア」が61.3回(6.0日に1度)となっている。11業態のうち6業態で年間平均利用回数が前回から減少した。「スーパー」は前回から7.6回減と引き続き減少した。一方、「ドラッグストア」は3.6回増と引き続き増加した。前回大きく増加した「通信販売」は今回2.6回減とやや減少した。

発した。本アンケートは11月中旬に実施しており、ワクチン接種が進み、経済活動が正常化に向かいつつある状況が主婦の景況感に影響したと考える。

主婦の物価観については、物価D.I.が前回から+22.2ポイントと大幅に上昇しており、多くの主婦が物価高を強く実感している。原油高に伴う食料品の値上げやガソリン価格の上昇などが影響したと見られる。

物価が高騰しているにもかかわらず、家計収入の動きは鈍い。このまま物価高が続けば、家計収支は圧迫され、節約志向が高まり財布の紐はさらに固くなるだろう。

また、足元では感染力の強い変異株の影響で新型コロナウイルスの感染者数が高止まり傾向にある。自粛生活が長引けば、主婦の消費活動にも影を落としかねない。

物価高とコロナ禍がこの地域の子婦の景況感や消費活動にどのような影響を及ぼしていくのか、今後も注視していきたい。

(2022.3.18)

OKB総研 調査部 梅木 風香

4 おわりに

主婦の景況感には依然厳しいものの、大幅に悪化した2020年に比べると過度な悲観はやや和らいでいるようだ。景況D.I.は▲39.5と低迷が続いているものの、「悪くなった」の回答率が大幅に低下したことで、大きく反

図表22 買物場所の年間平均利用回数

(単位:「利用頻度」を除く:回/年)

	スーパー	コンビニエンスストア	ドラッグストア	ディスカウントストア	複合型SC	通信販売	100円ショップ	ホームセンター	商店街	百貨店	家電量販店
全体	126.1 (▲7.6)	65.6 (▲0.6)	61.3 (3.6)	22.7 (1.4)	19.2 (0.4)	18.4 (▲2.6)	17.5 (0.9)	13.2 (▲1.4)	5.9 (▲1.5)	4.6 (▲0.2)	3.5 (0.0)
20歳代	94.8 (3.8)	108.8 (4.6)	58.5 (15.4)	23.5 (▲5.8)	27.2 (3.6)	24.6(▲16.6)	11.0 (▲7.8)	9.5 (▲0.6)	2.9 (1.2)	9.2 (2.6)	5.0 (0.6)
30歳代	103.6 (1.9)	58.7(▲23.0)	64.9 (6.3)	28.2 (10.5)	22.8 (6.6)	26.0 (▲5.6)	23.2 (5.2)	11.6 (▲0.2)	1.4 (▲0.7)	4.2 (▲0.1)	4.2 (0.9)
40歳代	133.7(▲10.1)	83.7 (13.8)	71.1 (▲0.6)	26.0 (▲2.4)	16.1 (▲3.6)	27.2 (7.4)	19.2 (1.0)	14.2 (0.6)	2.3 (▲0.6)	3.1 (▲0.3)	3.6 (▲0.9)
50歳代	140.4 (▲7.1)	60.8 (8.0)	60.3 (13.1)	21.6 (4.2)	17.6 (▲3.6)	11.9 (▲5.9)	14.8 (1.0)	12.5 (▲1.9)	4.7 (▲1.5)	4.6 (0.4)	3.4 (0.1)
60歳以上	130.5(▲13.9)	41.4(▲12.5)	49.6(▲10.9)	14.5 (▲4.6)	18.5 (3.7)	7.3 (▲3.7)	15.6 (▲1.4)	15.7 (▲4.9)	17.7 (▲4.2)	5.8 (▲2.9)	2.3 (▲0.3)
岐阜県	124.6 (▲3.5)	56.5 (▲0.3)	62.0 (▲1.0)	26.4 (1.9)	19.0 (▲1.3)	15.8 (▲3.1)	17.2 (▲0.4)	14.3 (▲1.7)	5.7 (▲3.5)	3.4 (0.8)	3.6 (0.0)
愛知県	128.6(▲13.4)	77.4 (▲3.7)	62.6 (10.2)	19.2 (0.6)	20.1 (2.4)	21.5 (▲4.2)	17.4 (2.0)	11.9 (▲1.2)	6.7 (1.6)	6.0 (▲2.4)	3.5 (▲0.1)
専業主婦	123.1(▲27.4)	52.2 (▲2.9)	59.4 (▲1.4)	24.7 (▲0.3)	20.1 (▲0.1)	16.0 (▲4.2)	21.6 (6.3)	13.9 (▲2.8)	14.4 (4.9)	4.6 (▲6.1)	2.7 (0.2)
正社員等	119.3 (▲1.9)	83.3 (3.4)	57.1 (1.9)	22.0 (2.6)	20.1 (1.3)	22.2 (▲2.1)	14.4 (▲1.0)	12.7 (▲2.1)	8.7 (0.6)	6.2 (0.5)	3.9 (0.3)
パート	133.7 (▲8.1)	52.6 (▲3.5)	66.1 (7.6)	23.1 (0.1)	18.2 (▲0.4)	15.8 (▲2.8)	19.6 (1.3)	13.6 (0.1)	2.5 (▲3.6)	3.3 (0.6)	3.4 (▲0.4)
利用頻度(*1)	2.9 (0.2)	5.6 (0.1)	6.0 (▲0.3)	16.1 (▲1.0)	19.1 (▲0.3)	19.8 (2.5)	20.9 (▲1.1)	27.7 (2.7)	62.1 (13.0)	79.8 (4.4)	105.6 (2.6)

(*1)「利用頻度」とは、「全体」において、それぞれの業態に訪れる間隔を日数単位で表したものを示す。スーパーであれば2.9日に1度利用するとの意味。 (*2)括弧内は、前回差を示す。